

北ア広 20 ご第 20 号
平成 21 年 1 月 14 日

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田温巳 様

北アルプス広域連合
広域連合長 牛越 徹

「問題点に基づく要望と懇談会の申し入れ」に対する
北アルプス広域連合の考え方について(回答)

平成 20 年 12 月 16 日付けの標記のことについて、別紙のとおり回答します。

H201216 ごみ連協 問題点に基づく要望と、「懇談会」の申し入れに対する 北アルプス広域連合の考え方(回答)について

1 民意の把握を行う前に、賛成・反対・その他(慎重)の意見を集めた「村民説明会」(討論会)を開催するとともに、意見を集めた冊子を作り全戸に配布することを求めます。

(回答)

広域連合では、白馬村民の皆様へ、説明会の資料を2回、(平成19年3月、平成20年7月)及び説明会でいただいた主な意見と広域連合の考え方を3回(平成19年6月、平成19年7月、平成20年11月)配布しております。

2 なぜ「住民投票」ではなく、「アンケート」にしたのかの説明会を公開の場で行ってください。アンケートの臭体論はその先の話です。

(回答)

説明会の予定はありません。

3 この問題(小谷村の署名)を一自治体の問題として封印することは、候補地問題が暗礁に乗り上げるだけでなく、広域連合への不信感を増幅させるだけです。貴殿の明快な所見を表明してください。

(回答)

小谷村の文書は、強制する趣旨のものではなく、また、小谷村の住民の皆様お一人お一人が判断して署名されたものと考えております。なお、署名は、賛成反対いずれについても十分重く受け止めなければならないものと考えています。

4 白馬村長に対し、まず白馬村が主体となって「飯森への建設」で民意を問うことを助言してください。

(回答)

広域連合内で十分話し合いがなされ、広域連合及び白馬村の連名で飯森地区への建設について、住民アンケート調査を実施することとなったものです。

5 「飯森への建設」に対する民意に結論が出た時点で、「地質調査及び生活環境影響調査」を改めて論じてください。また、その際には住民への十分な説明をしてください。

(回答)

今回の住民アンケート調査は、飯森地区での事業の推進について白馬村民のお考えを問う内容としております。事業を進めることとなった場合に、次の段階として地質調査及び生活環境影響調査を実施いたします。

6 「地元」の範囲(定義)を早急に示してください。

(回答)

現段階では、広義で「白馬村(白馬村民)」であり、狭義で「飯森地区」を地元と考えています。

7 誰の目から見ても透明性・公平性・公正が担保されるように、第三者機関に公募による住民代表が入ることを求めます。

(回答)

住民アンケート調査の方法について公平性・公正性を確保するための第三者機関として、広域連合の選挙管理委員及び委員補充員からなるごみ処理施設建設に関する住民アンケート調査委員会を設けました。また、透明性については、調査業務全体を(社)長野県世論調査協会に委託することにより確保できるものと考えています。

8 いつ・どこで・どのように住民の意見を徴するのかを明示してください。

(回答)

住民アンケート調査の設問については、12月18日から24日まで意見を募集し、広域連合及び白馬村のホームページに掲載するとともに、白馬村の行政無線でも広報してまいりました。また、多くの報道機関により、報道されております。

9 判断基準の明示を求めます。

(回答)

アンケート調査結果を最大限に尊重して判断いたします。